

テーマ：地域活性化・地域社会への貢献／滋賀県電器商業組合（滋賀）

●滋賀県警察と連携し高齢者を事件・事故から守る活動

<http://shiga-ds.com/>

■背景と目的

滋賀県では特殊詐欺や交通事故死者数の高齢者比率が非常に高く、一方で家電販売店も大型店やネット通販との競争から新たな活路を切り開く必要性が高まっている。このような中、顧客との関わりが深い中小家電販売店の特性を生かし、日々の商売にもつながる社会貢献活動の一環として滋賀県警察と覚書を締結し、高齢者の見守り活動を開始した。

■事業・活動の内容と手法

平成27年の「高齢者を事件・事故から守る活動に関する覚書」締結を契機として活動に入った。

具体的には組合理事会を中心として取組みの方向性を決定し、滋賀県警察本部・生活安全部及び交通部との調整のもとに、滋賀県下の11の支部をベースに各組合員が日頃の顧客への営業活動を通じて見守り活動をするというものである。また、全国電機商業組合連合会と連携して年1回実施している「敬老の日の無料家電点検活動」を活用した防犯に関する啓発活動や、一部で取組みが始まった地域の警察署と連携したイベントへの参画など活動は進化している。

推進体制は、組合として滋賀県警察本部と締結した覚書をベースに、具体的な活動は各支部と地域の警察署と連携して実施している。また、県警本部からの提供される生活安全に係る情報などを支部及び各組合員に発信することや、組合員の見守り活動を支援するチラシ等の作成などの実務支援を組合事務局が担うというように、連携体制づくりから実務支援まで一体となった仕組みが構築されている。

本事業への取組みはスタートしたばかりのため今後さらなる進化が求められるが、生活安全という地域密着の活動のためにも各地域の警察署と組合の各支部との連携が必須となる。現在、各警察署との取組みが始まっているが、滋賀県全域の取組みに拡張していくことが組合の課題となっている。

■成果

社会的意義の重要性から、組合員のステータスを高めるといふ機運が高まりつつある。組合支部と地域警察署との取組みが始まったところも生まれ、組合員にも高齢者の顧客紹介など営業的な成果が出だしたことから、今後の組合内でのさらなる取組み意欲の拡大が期待される。

テーマ：地域活性化・地域社会への貢献～／厚浜木材加工協同組合（北海道）

●高度な加工技術により新たな地材地消をめざす

<http://www.kohinmokuzai.com/index.php>

■背景と目的

北海道内に植林されたカラマツの用途は、これまで輸送用・梱包用資材という低価格取引が主であったが、付加価値を高めることで地元林産業の活性化を図ることを目的に組合を設立した。ねじれや割れという欠点を持つカラマツ材に高度な加工技術を施すことによって道産カラマツの知名度を上げ、地材地消を推しはかることが課題となっていた。

■事業・活動の内容と手法

国と北海道の支援による広域林業構造改善事業を導入し、組合による設備投資を行い、カラマツの有効利用を進める手段として組合による共同加工、共同生産事業を柱に「カラマツログハウス」を開発し生産販売することで目的の達成と課題の解決を図ろうとしたが、知名度の低さが災いして販売に苦戦することとなった。

そこで、国や大手建設会社の大型公共事業へ木材を供給するという事業の方向転換を図り、下請事業に徹することで組合の体質改善を図った。その結果、道内各地の工事を受注し実績を積むことで道外の工事も受注することに成功した。これはログハウス作りで培われた加工技術が活

かされたことが大きく影響しており、ねじれや割れが生じやすいカラマツの欠点を高度な加工技術によって作り出される「集成材」という手法を用いて解決することで、牛舎や学校校舎などこれまでは鉄骨やRC造のみであった大型建築物の受注につなげることができるようになった。

現在は下請事業を継続しつつ、長年蓄積してきた木造建築の接合方法や設計知識、施工技術の一つにまとめ、大型建築工事に対して組合が自ら提案するKTCシステム（コウヒン・ティンバー・コンストラクション・システム）を開発し、一歩先へ進んだ組合への発展を図ることで地材地消を展開中である。

■成果

国や大手建設会社による大型公共工事の下請受注に事業を特化し、取引先の信用を得たところが大きな要因である。さらに、ログハウス販売で蓄積したカラマツ加工技術は高度なものであり、カラマツ材を貼り合わせて作る集成材によって大型建築物の梁（最大15メートル）を作ることができるのは道内でも当組合を含め2者のみであり、伐採適期を向かえた豊富なカラマツ資源の有効利用になくはない存在となっている。